

ASPIRE フォーラム 2023 開催



本学が加盟している ASPIRE リーグの年次総会である「ASPIRE フォーラム」が KAIST（韓国科学技術院）主催により 7 月 2 日から 4 日まで韓国・デジョンの KAIST メインキャンパスで開催されました。

ASPIRE リーグは、本学が発案し、2009 年に設立された科学技術の発展と人材の開発を通してアジアにおけるイノベーションのハブを形成することを目的とした、アジア地域における理工系トップ大学のコンソーシアムです。加盟大学は、清華大学（中国）、香港科技大学（中国）、南洋理工大学（シンガポール）、韓国科学技術院（韓国）と東京工業大学の 5 大学で、本学は設立当初より事務局を務めています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020 年から 2022 年の間はオンラインでフォーラムが開催されてきましたが、今年は、2019 年に本学で開催して以来 4 年ぶりに対面での開催となりました。

シンポジウム

7 月 3 日午前に ASPIRE シンポジウムが行われました。各加盟大学の研究者が今年のフォーラムのテーマ「Technology and Stewardship for Sustainable Global Future」に関連した技術や研究成果に関する講演を行いました。カーボンニュートラル達成に貢献する技術やエネルギー問題に関する講演が行われ、持続可能な社会の実現に向けて各大学が様々な研究活動を行っていることが伺えました。

本学からは、副学長（国際連携担当）の林宣宏教授が、「Sustainable futuristic healthy society realized through AI-assisted proteomics based on practical open innovation」

という題で講演を行いました。

参加した学生たちから多くの質問が出て Q&A セッションは盛り上がりました。時間が足りなくなっても、その後休憩時間にコーヒーを飲みながらの立ち話で気軽に質問できるなど、コロナ前は当たり前だった対面開催ならではの利点の貴重さが感じられる会となりました。

また、シンポジウム中、その前日に誕生日を迎えた本学からの参加学生のサプライズバースデーパーティーが行われ、フォーラム参加者全員がハッピーバースデーを歌う中 KAIST の Man-Sung Yim 副学長からケーキがプレゼントされるという心温まる一幕もありました。



副学長・シニアスタッフ会議

7月3日午後には、各加盟大学の副学長およびシニアスタッフが出席する「副学長・シニアスタッフ会議」が行われ、本学からは佐藤勲理事・副学長が出席しました。加盟大学の副学長が、各大学の最近の国際連携等の状況について情報共有を行い、今後のリーグ活動についてのディスカッションを行いました。また、2023年サイクルの ASPIRE League Partnership Seed Fund (ASPIRE リーグ加盟大学間共同研究のスタートアップ支援) に応募のあった提案書の審査が行われました。

本学は、2024年に東京医科歯科大学と統合する予定であることを紹介し、また前週に、2回目にして初めて対面で開催した学士課程学生向けの交流プログラム「ASPIRE Undergraduate Engineering Design Challenge」について報告しました。2024年6月に再び本学で UEDC を行うこと、そして7月に清華大学にて「ASPIRE Forum」を行うことが提案され承認されました。

会議後には、これまでに ASPIRE リーグパートナーシップシードファンドで支援を受けた共同研究プロジェクトのうち6件の研究成果報告セッションがオンラインで行われました。本学からは2019年に採択された道信剛志教授(物質理工学院)(HKUSTおよび清華大学との共同研究)の成果報



告、2020年に採択された山口昌英特定教授（理学院）（KAIST との共同研究）の成果報告が行われました。

学生ワークショップ



今年の学生ワークショップは、6月28日から30日まではオンライン開催、後半の7月2日から4日はKAISTにて対面開催という形をとりました。各加盟大学から合計22名の大学院生が参加し、5つのグループに分かれてグループワークを行い、最終日に各加盟大学副学長に対してプレゼンテーションを行う発表会が開催されました。発表後、各加盟大学副学長が評価を行い、最後にグループ順位の発表、賞品と修了賞の授与が行われました。最優秀発表賞は、認知症患者の生活を支えるシステムを提案したグループが受賞しました。

全体を通して、AIを使う技術・サービスにより社会課題を解決する提案をするものが多くみられました。学生ワークショップを指導したKAISTのJaewook Myung教授は講評で、「元々が選抜された大学から更に選ばれて来た学生たちだけありとても優秀で、特別講義をした後の質問は非常に鋭いものが多く、感心しました。



また、前日のリハーサルの時から、最終日の発表会本番までの間のプレゼンテーションのブラッシュアップが凄まじく、違うプレゼンテーションかと思われるほどに変化していて、学生諸君がきちんと睡眠をとれたか心配してしまいました。」とコメントしました。

締めくくりとして閉会式と昼食会が行われ、フォーラムは無事幕を閉じました。

次回のASPIREフォーラムは2024年7月に中国・北京の清華大学にて開催される予定です。